

# 山桜の里 戸赤

学校の網戸、風呂場のカビ取り、カーテンのカメムシの汚れなど次年度の修繕課題が出されるなど、公私話題が飛び交った収穫祭



やまぐつら学校避難訓練



学校利用者から自慢の菓子や便りが届く

雪囲い・避難訓練

収穫祭

合意書の金額が確認された後、事務費が清算されています

7割余り受領・H29年末現在

## 東京電力の立木賠償合意



明陽学校の雪囲い、広場の後片付け、避難訓練、収穫祭が行われました

東京電力の立木賠償請求は、平成29年末時点で請求者の7割余りの方が合意に至りました。この機会に相続登記を済ませ、請求用紙を取り寄せ中の方もいますが、全員の請求書提出から1年近く経つてようやくゴールが見えてきたというところです。

【本地の学習No77】鬼首周辺に展開した木地師 大場藤右衛門の椀座開設 仙台藩の木地挽き物は、鬼首・刈田熊沢・気仙木地山といわれたほど鬼首挽き物は領内でよく知られていた。安永二年の仙台藩「風土記御用書出」には、「大口村の木地挽物があげられているが、これらの技術は鬼首から伝えられたものだ」という。鬼首では古くから木地の生産がなされてきたが、漆器産業として形を整えてくるのは、鬼首村原台の肝入大場藤右衛門が椀座開設に乗り出して来る文化二、三年頃のことであった。…信州渡木地師が移住して来る10年前に、藤右衛門は職人を抱えて椀の生産を行っている。従って、初めから信州の木地師をあてにしていたのではなかったはずである。鬼首の椀座開設の話を目にした信州木地師達が移動してきたということではないだろうか。このことは藤右衛門にとっても渡りに船だったと思われる。…信州渡木地加美郡小野田町門沢山の木地師は「文政元年八月廿八日、信州より渡ル」と記され、この中に惣左衛門の名が見える。また秋田県稲川町大館にも利平太代印の惣左衛門がいる。前記信州浪合村の惣左衛門がどちらの惣左衛門か、今ここでは判断しかねるが、大館の惣左衛門もまた信州の木地師である。…鳴子中山村で氏子狩を受けた小椋友五郎の子孫は、鳥川・太平と移動、明治三十八年頃に岩出山町轟園細峯に定着し、農業へと転じた。同家所蔵文書に八幡講当番名記載の年行司廻帳と掟がある。八幡講は八幡神社の講で蛭谷の筒井八幡宮である。この文書には「文政拾亥六月日、筒井公文所役人」の記載があり、この講は、筒井公文所が文政十年の氏子狩の時に、根元地主導のもとに組織された講と考えられる。この掟書の後に、講側の年行司当番九名の連印がある。(会津地方歴史民俗資料館「木地語り」より) (続<)



(上)下郷町老人クラブ連合  
会長賞入賞  
(小椋義道)

花豆  
「何とか採れたあ  
〜」と  
嬉しい報告  
総評

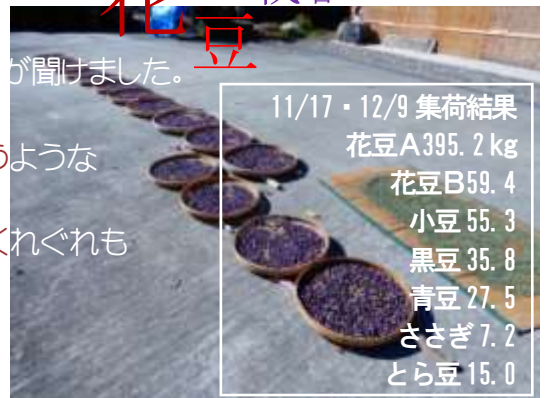


役目を終わろうとする現道 (左)

れきの  
ひとコマ

一年の農作業に感謝・「お千度」  
お千度もし(詣ず?)、稲荷神社境内を何回も  
巡り一年の農作業に感謝、一品持ち寄りでお  
神酒をいただく。

## 花豆 栽培



11/17・12/9 集荷結果	
花豆A	395.2 kg
花豆B	59.4
小豆	55.3
黒豆	35.8
青豆	27.5
ささぎ	7.2
とら豆	15.0

本年は、8月戸赤に伺った時、皆さん口を揃えて、暑すぎて花が落ちる  
受粉しないと云ってたので、不作になるのかと覚悟を決めていました。  
しかし、11月17日買い取りに伺うと、皆さんの顔から笑みがこぼれ、  
あの後9月に天候を持ち直して、「何とか採れたあ〜」と嬉しい報告が聞きました。  
結果、豊作に近い数字になり良かったです。  
私も戸赤に来て大分なりますが、皆さんの粒の大きさや数量を競うような  
生産の姿勢に頭が下がります。本当この村は長寿で素晴らしいと  
いつも思っております。これから厳しい冬になりますので、皆さまくれぐれも  
お身体大事にお過ごし下さい。  
皆様の大事な花豆で、美味しい「下郷花豆パイ」作らせて頂きます。  
(株)おくや 代表取締役 松崎 健太郎

(ストーリー性のある村づくりのために[No.45] 石城国 (いわきのくに)・石背国 (いわせのくに) の分立 …陸奥国を分割して石城国  
と石背国を置いたとある。石城国は陸奥国の石城・標葉 (しねは)・行方 (なめかた)・宇太・亘理 (わたり) およ  
び常盤国の菊多郎の六郡を割いて、石背国は白河・石背・会津・安積・信夫の五郡を割いて置かれた。  
…陸奥国は三分割されたのである。「会津」という名称が文献に初めて現れるのは、この『続日本期』  
の養老二年五月二日条である。石城国は現在の福島県の浜通り、石背国は中通と会津に相当する地域で、  
福島県全域にほぼ重なる。…会津郡は、養老二年以前は陸奥国に、陸奥国・石城国・石背国の三国に分  
かれてからは石背国に、石城国。石背国廃止後は陸奥国にそれぞれ属していた。耶麻郡の成立 会津は  
奈良時代を通じて、会津一郡制であった。…耶麻郡は承和七年(840)までに会津郡から分立して成立し  
たことがわかる。日橋川と阿賀川を境にして、北が耶麻郡で南が会津郡である。会津郡長江郷 『和名  
類聚抄 (わみょうるいじゅうしょう)』 古代の下郷町は陸奥国会津郡長江郷といわれていた。…会津郡の九郷のう  
ちで所在地が明らかなのは長江郷だけである。長江郷の所在地が明らかなのは、その名前が荘園の長江  
庄に受け継がれたからである。鎌倉・室町時代の古文書に長江庄内としてみえる郷および村は三郷三村  
で湯原郷・古々布 (こうふ) 郷・長田村・大豆綿村・しなし (大豆綿村に属した) である。三郷は現在の下郷町で、  
江戸時代の組でいうと、奈良原郷は檜原組、湯原郷は小出組・弥五島組・古々布郷は松川組にあたる。  
長田村・大豆綿村は田島組・高野組、現在の南会津町 (旧田島町) である。

(「下郷町史」第7巻通史編 (発行・下郷町) より出典) (続く)